

広報大洲

きらめき創造 大洲市
—みとめあい ささえあう 肱川流域都市—

2011

No.81

10

大洲



霧と風が織りなす自然の幻想美
～肱川あらし～

大洲市長浜の冬の風物詩である「肱川あらし」は、世界的にも珍しい神秘的な自然現象です。

今月号では、シーズン到来間近に迫った、肱川あらしの魅力を紹介します。

霧と風が織りなす自然の幻想美
〜肱川あらし〜



神 秘

肱川あらしは、なぜ起きるのか。



肱川に沿って下る「霧の川」

晴天の日に、太陽によって大洲盆地の空気は温められ、気圧が下がります。このため、陸地と海面で気圧の差が生じ、気圧の高い海面の湿った空気が、伊予灘から大洲盆地へと逆のぼります。



河口付近で一気に吹き出す肱川あらし

日中に、伊予灘から海風として移動した空気は、夜間には気温の低下とともに冷やされ、大洲盆地に停滞します。このとき、盆地内の気圧は高くなるため、昼間とは反対に、盆地から海へと向かう陸風が発生します。



海上の沖合数キロにまで達する霧

冷え込んだ早朝、大洲盆地から流れ出す冷気は、肱川に沿って下りまです。広い盆地から肱川特有の狭まった地形に沿って流れ出した冷気は、一気に風速を増し海上に吹き出します。

冷気とともに流れ出した霧は、冷気と海水温の温度差が大きいと新たに蒸気霧を発生させ、海上で扇状に広がり、壮大な光景を見せてくれます。

体 感



長浜小学校5年

渡 壁 摩 夕 さん

長浜に住んでいる私にとっても、
肱川あらしは珍しいものだと思います。
肱川あらしが発生しても、ひんやりする日とそつでない日があるのが、不思議な面白いです。
肱川あらしが出る日は、風がとても強いので、体が流されないように登校するのが大変です。
肱川あらしをたくさんの方が見ていることを知って、すごいと思いました。もっと有名になってもらいたいです。

子どもたちはどう思ってる？

実際に通学で、「肱川あらし」を体験している子どもたちに聞きました。
肱川あらしについて、どう思いますか？

長浜小学校6年

田 中 勘 太 さん

毎年、肱川あらしが起きると「今年も来たな」と、ちょっとドキドキして楽しいです。あらしが吹く日は髪の毛がバサバサになり、上着を着ていないと寒さで肌が痛いです。
登校中に班の子の帽子が飛ばされて、赤橋の柱に引っかかったことが思い出になります。
僕たちには普通の生活にあるものだけど、肱川あらしが世界でも珍しいものだと思って、面白いなと思いました。



あらしを見る。



設置されたライブカメラ

肱川あらしの勇壮な風景を市内外の多くの人に見ていただくため、大洲市では5月30日、肱川あらし展望公園にライブカメラを設置しました。

これにより、大洲市公式ホームページから肱川あらしのリアルタイムな映像をみなさんに楽しんでもいただけます。



ライブカメラから見た映像

また、大洲の絶景スポットをたくさんの人に知って、見て、興味を持ってもらうため、ライブカメラは、富士山公園にも設置されています。

「肱川あらしを多くの人に知って、見てもらいたい」



アマチュアカメラマン
木村 喜久男 さん

肱川あらしに興味を持ち始めたのは、長浜大橋（赤橋）の管理の仕事に就いた昭和48年以降です。

最初は気にも留めていませんでしたが、昭和50年ごろから関心を持ち始めたように思います。

当時、NHK松山放送局では、夕方から県内各地の出来事を放送していました。肱川あらしの写真を送ってみたところ、同局から連絡があり、写真について電話対談をしたことがあります。この放送が大きな反響を呼び、肱川あらしを広く知らしめることができました。これを契機に、肱川あらしは別の番組でも取り上げられ、長浜

の風物詩が電波に乗り、その映像が全国各地に届くと思うと、とても嬉しく感じたことを覚えています。今年初めには東京のNHKから取材があり、国内はもちろんで、世界に一つしか例のない自然現象として認められることになりました。

また、肱川あらし実行委員会が実施している「肱川あらし発生初日当てクイズ」には、毎年全国各地から600通前後の応募があると聞き、全国的にも肱川あらしの認知度が高まっているように感じています。

私は、肱川あらしを約37年間、撮り続けていますが、肱川あらしの魅力は、自然豊かな長浜地域で見ることのできない現象であり、言葉では言い表せない幻想美ではないかと思っています。肱川あらしのことを考えるとじっとしておれず、わくわくします。また、撮影のために外出することが、私の健康の秘訣であるとも思っています。

肱川あらしを、できるだけ多くの人に知ってもらい、見てもらい、その魅力を感じてほしいと思います。